

第3表 土壌へのPCP添加試験

試験回数	1		2	
	回収量 ppm	回収率 %	回収量 ppm	回収率 %
0	0		0	
10	9.85	98.50	9.85	98.50
30	28.97	96.57	28.65	95.50
50	49.54	99.08	47.24	94.48
75	68.47	91.29	72.26	96.35
100	94.22	94.22	93.33	93.33
500	436.42	97.28	505.47	101.09

96.35 ± 2.00% (危険率5%)

(3) 50mg%以下のPCPを土壌に添加して試験した結果、回収率94.35~98.35% (危険率5%)であつた。

文 献

- 1) G. W. Hunter et al : 406th. Med. General Laboratory (1947); 2) Mc Muller et al. : Am. J. Trop. Med. 31, 593 (1951); 3) 津田栄造 : 東京医事新誌 69, 43 (1952); 4) C. J. Goodnight : Ind. Eng. Chem. 34, 868 (1942); 5) W. T. Haskins: Anal. Chem. 23, 1672 (1951); 6) W. Deichmann, L. J. Schefer : Ind. Eng. Chem. Anal. Ed. 14, 311 (1942); 7) J. B. Laclair: Anal. Chem. 23, 1760 (1951); 8) Monsanto Chem. Co. : Monsanto Tech. Bl. No. 24 (1945); 9) S. Gottlieb, P. B. Marsh : Ind. Eng. Chem. Anal. Ed., 18, 16 (1946)
(衛生化学 4 (2) : 94~96, 1956より転載)

増富温泉地帯の砒素分布について (予報)

沼田 一、雨宮英子、久保田寿々代

先に別項温泉分析試験に於いて述べた如く、筆者等は増富温泉の現在利用されている源泉7ヶ所の中分析試験を行つた結果、その多くに砒素を含有している事を発見した。

よつて筆者等は、衛生上、更に温泉の医治効能上先ず砒素の分布を調査すべく、A、B、Cの各密集源泉群地帯より選んだ、鉱泉15、沢水3、河川水3、飲料水(湧水を導水しているもの)4、沈澱岩3の各試料について分析した結果、亜砒酸として鉱泉中より0.2~18.5ppm、平均5.74ppm、沢水中0~0.27ppm、河川水中0~0.07ppm、沈澱岩中1775~5200ppm、を検出した。

又この鉱泉の放置により析出する鉄化合物に、砒素の約70%が吸着されることを確めた。尚この砒素が生体に及ぼす作用についても考究中である。

詳細な報告は第11回日本薬学会公衆衛生部会に於て行ふ予定である。